

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公表番号】特表 2019-534330 (P2019-534330A)

【公表日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-048

【出願番号】特願 2019-545869 (P2019-545869)

【国際特許分類】

A 6 1 K	33/30	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/16	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/28	(2006.01)
A 6 1 K	47/59	(2017.01)
A 6 1 K	47/69	(2017.01)
A 6 1 K	47/54	(2017.01)

【F I】

A 6 1 K	33/30	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/16	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	9/70	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/28	
A 6 1 K	47/59	
A 6 1 K	47/69	
A 6 1 K	47/54	

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 29 日 (2020.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者中の腫瘍において P A R P 1 媒介性腫瘍壊死を誘導するための医薬組成物であって、該医薬組成物が、剤形中に療法上有効量の Z n (I I) 塩および - ポリグルタミン酸キャリアーを含み、

前記の - ポリグルタミン酸キャリアーが、 - ポリグルタミン酸、腫瘍標的化 - ポリグルタミン酸誘導体、電荷修飾 - ポリグルタミン酸誘導体および腫瘍標的化電荷修飾 - ポリグルタミン酸誘導体から選択される 1 以上のキャリアーを含む、医薬組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の医薬組成物であって、前記の腫瘍が、薬物耐性表現型を有する、医薬組成物。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の医薬組成物であって、前記の薬物耐性表現型が、機能不全の p 5 3 である、医薬組成物。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の医薬組成物であって、前記の薬物耐性表現型が、M D R 1 の過剰発現である、医薬組成物。

【請求項 5】

請求項 2 に記載の医薬組成物であって、前記の薬物耐性表現型が、M R P 1 の過剰発現である、医薬組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、前記の剤形中における前記の Z n (I I) 塩および前記の - ポリグルタミン酸キャリアーが、療法量の N F - B 阻害剤との組み合わせで療法量で投与される、医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、前記の剤形が、固体剤形または液体剤形である、医薬組成物。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の医薬組成物であって、前記の剤形が、固体剤形であり、錠剤、ミニ錠剤、硬カプセル、軟カプセル、カプレット、ゼラチンカプセル、経口崩壊性フィルム、顆粒、ペレット、ペーストおよび粉末小袋から選択される、医薬組成物。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の医薬組成物であって、前記の剤形が、液体剤形であり、液体溶液、液体懸濁液、シロップおよび経口スプレーから選択される、医薬組成物。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の医薬組成物であって、前記の投与工程が、経口投与および注射投与から選択される、医薬組成物。

【請求項 11】

(i) 薬学的に許容可能な Z n (I I) 塩ならびに (i i) 腫瘍標的化部分および / または電荷修飾部分によって修飾されている - ポリグルタミン酸を含む - ポリグルタミン酸キャリアーを含む医薬組成物。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の医薬組成物であって、前記の腫瘍標的化部分が、葉酸、⁵ N , ¹⁰ N - ジメチルテトラヒドロフォレートおよび R G D ペプチドから選択され、前記の部分のいずれかの組み合わせが、 - ポリグルタミン酸に共有結合的に連結されている医薬組成物

。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 または 1 2 に記載の医薬組成物であって、前記の電荷修飾部分が、クエン酸、エチレンジアミン四酢酸、1, 4, 7, 10 - テトラシクロドデカン - N, N', N'', N''' - 四酢酸およびジエチレントリアミン五酢酸から選択され、前記の部分のいずれかの組み合わせが、- ポリグルタミン酸に共有結合的に連結されている医薬組成物。

【請求項 1 4】

請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれかに記載の医薬組成物であって、さらに (i i i) - ポリグルタミン酸を含む医薬組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、前記の Z n (I I) 塩の実質的な部分が、Z n (I I) イオンの前記 - ポリグルタミン酸キャリアーとの結合した複合体である医薬組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、(i) 前記の Z n (I I) 塩および (i i) 前記の - ポリグルタミン酸キャリアーが、固体混合物中で一緒に混合される医薬組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、さらに N F - B 阻害剤を含む医薬組成物。

【請求項 1 8】

請求項 1 1 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、固体剤形として配合される医薬組成物。

【請求項 1 9】

請求項 1 8 に記載の医薬組成物であって、前記の固体剤形が、さらに胃耐性結合剤および/または胃耐性外部コーティングを含む医薬組成物。

【請求項 2 0】

請求項 1 1 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物であって、液体剤形として配合される医薬組成物。

【請求項 2 1】

請求項 2 0 に記載の医薬組成物であって、前記の液体剤形が、注射に適している医薬組成物。

【請求項 2 2】

請求項 2 0 または 2 1 に記載の医薬組成物であって、前記の液体剤形が、さらに胃耐性材料を含む医薬組成物の懸濁液である医薬組成物。

【請求項 2 3】

患者において腫瘍を処置するための、請求項 1 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

請求項 2 3 に記載の医薬組成物であって、前記の腫瘍が、機能不全の p 5 3、M D R 1 過剰発現および M R P 1 過剰発現から選択される薬物耐性表現型を有する、医薬組成物。